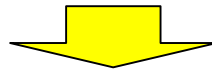
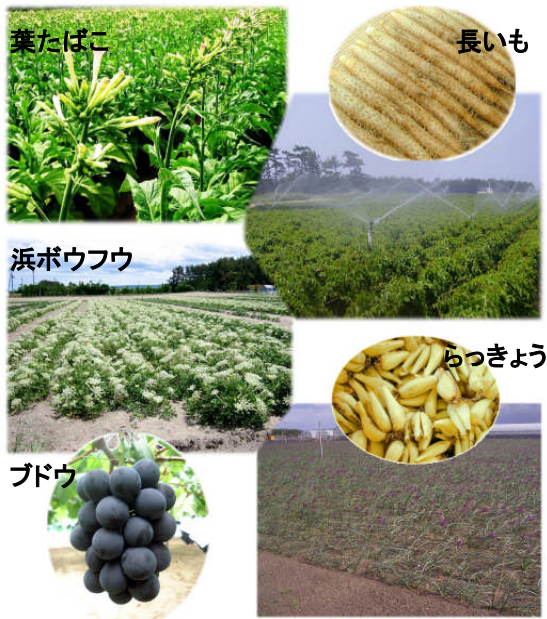
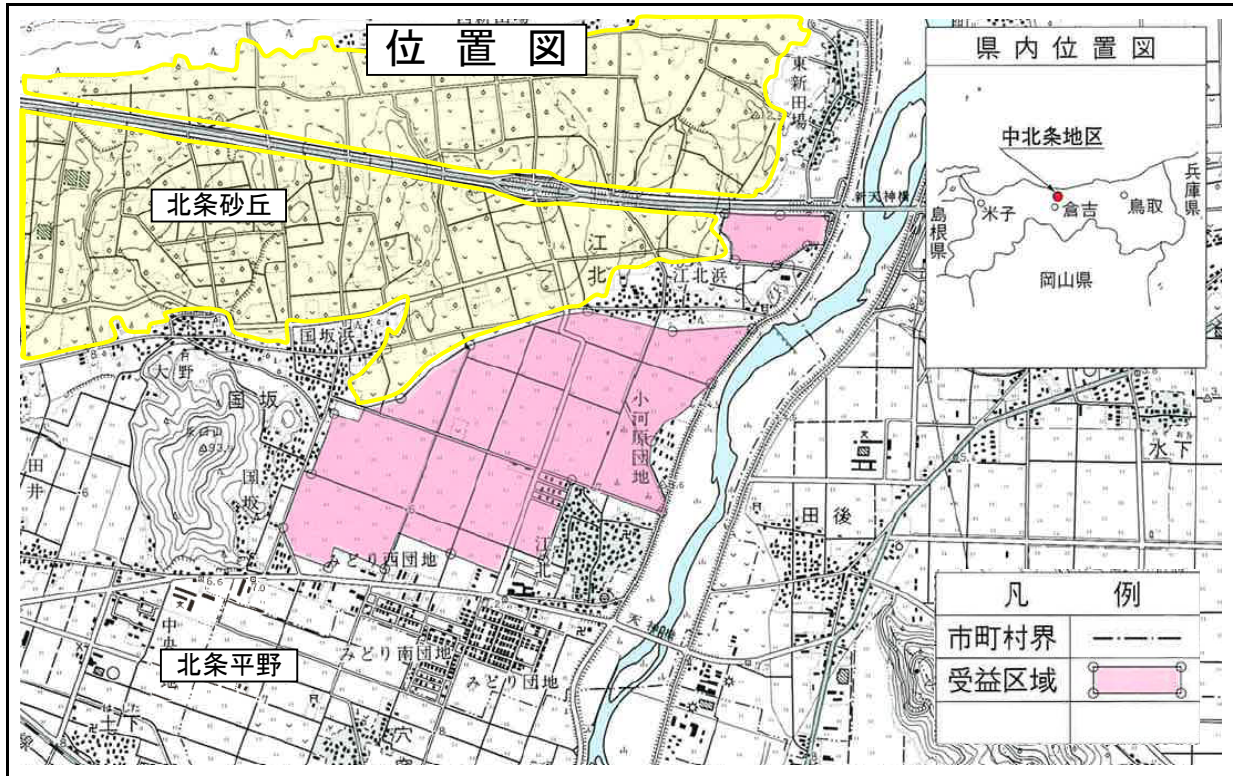


県営ほ場整備事業（担い手育成型）「中北条地区」
～ 1地域1農場方式の水田営農を目指して！～



北条水系土地改良区（鳥取県北栄町）

◇地域の概要



<特産物>

- 北条町は、県内有数の農業地帯。
- 大山山麓の黒ぼく畑では、「大栄スイカ」が栽培。
- 日本海側の「北条砂丘」では、独特の砂丘地農業が展開。
ブドウ・長いも・ラッキョウ・葉たばこなどの特産物が栽培される。
- 「北条平野」の基盤整備は、昭和20年代後半から行われたが、区画は15a程度と小さく、農道は狭小で未舗装、用排兼用の土水路であり、大型営農機械の導入や農地の汎用化が困難であった。

◇事業の概要

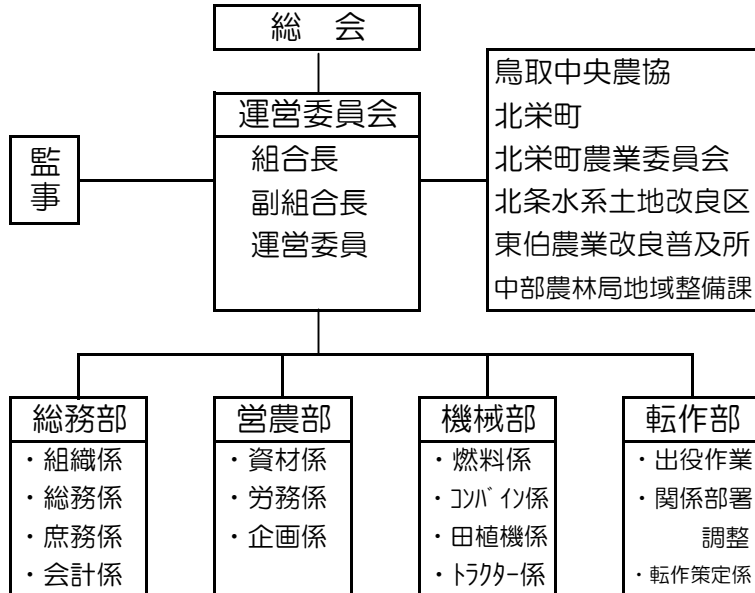
- 地域農業の衰退に繋がるとの危機感から大区画ほ場整備の実施と、営農組織による新しい水田営農の確立を目指した。
- 水田営農の省力化により、砂丘地農業の充実を図る。
 - 標準区画：100～150a
 - 1ha以上の区画：52.7ha
- ※ ほ場の枚数が、約1/6に減少
整備前：549枚 → 整備後：94枚

| 受益面積 | | 94.3ha | 受益戸数 | | 287戸 |
|------------------|--------------|-------------------------------------|------|--|------|
| 主 な 工 種 | 生産 基 盤 | ○区画整理 A=94.3ha (大区画化、用水パイプライン化等) | | | |
| | 生活 環 境 | ○暗渠排水 A=91.2ha | | | |
| 総事業費 | 事業期間 | ○農業集落道：6路線 | | | |
| | | ○農業集落排水：1路線 | | | |
| | | ○集落防災安全：防火水槽2カ所 | | | |
| | | ○農村公園：1カ所 | | | |
| 総事業費 | | 1,917百万円 | | | |
| 事業期間 | | 平成9年度～平成14年度 | | | |

◇ 営農の概要

| 中北条水田生産組合 | |
|-----------|---|
| 設立年月日 | 平成10年4月7日 |
| 運営形態 | 1地域1農場方式（参加集落：4集落、参加農家数：228戸） |
| 作業受託面積 | 74.6ha（水稻、麦、大豆、その他） |
| 保有営農機械 | トラクター(56ps) 2台、トラクター(32ps) 1台、田植機(8条) 2台 コンバイン(5条) 2台、コンバイン(3条) 1台、ハイクリビーム2台 他 |
| 取り組み経緯 | H7年3月 「担い手育成基盤整備事業推進協議会」を組織 集落説明会、関係者へのアンケート調査 H8年10月 ほ場整備事業の同意取りまとめ H9年4月 県営ほ場整備事業の着手 「中北条水田生産組合設立準備会」の設立 H10年4月 「中北条水田生産組合」の設立 H11年～ 水田営農開始 |

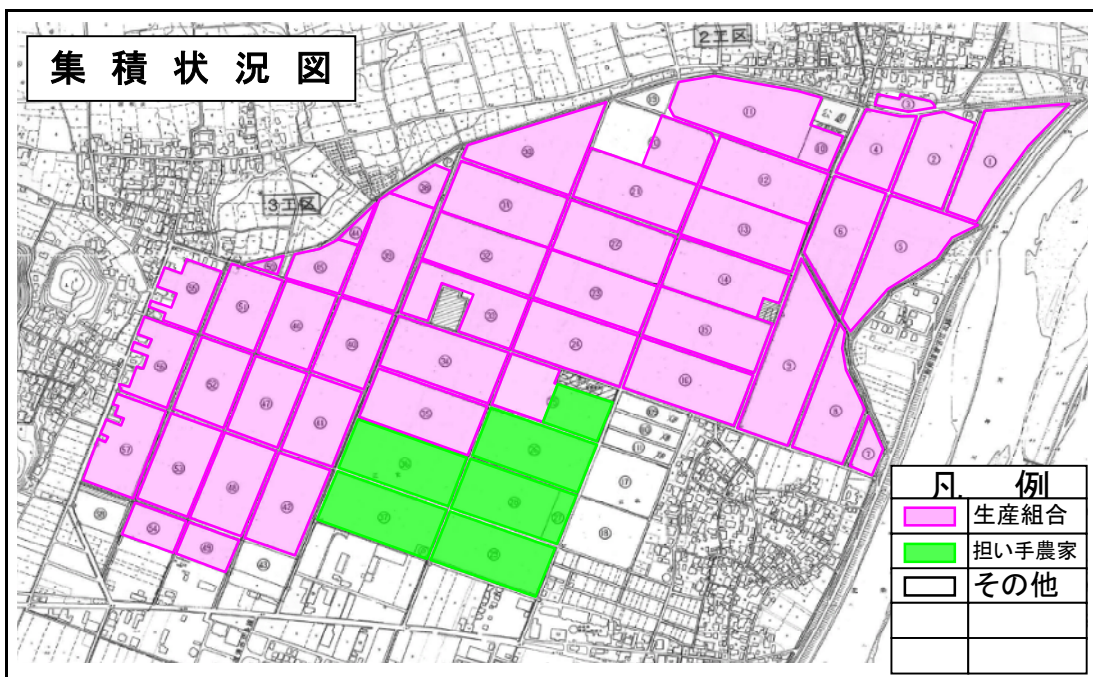
【組織体制図】



<省力化の取組>



集積状況図



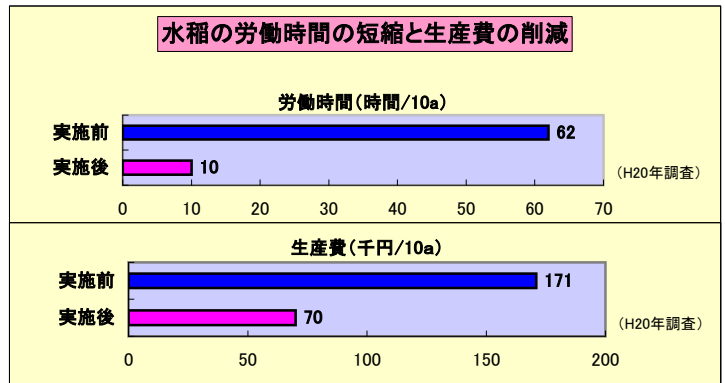
◇環境への配慮

- 集落排水路には、住民との意見交換会を踏まえて、親水性の護岸を採用。
- 住民の皆さんにより、花ショウブなどの水生植物を植栽。
地域住民に「うるおいの場」として親しまれている。
- 農地・水・環境保全向上対策の取組にも繋がり、地域資源の保全と景観形成が図られている。



◇事業の効果等

- 水稻の労働時間が縮減、生産費が削減（労働時間は約1/6に短縮）
- 余剰労力は、砂丘地農業の充実へ寄与
- 大豆・麦・ネギなどの転作作物が導入



<波及効果>

- 区域内では、大区画ほ場整備が次々と実施され、集落営農組織による水田営農が拡大。
- 土地改良区の運営強化と組合員の負担軽減を図るため、関係する3土地改良区が合併。

